

自己評価シート【八雲住区センター児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1-1 理念・基本方針

1-1-1 (1) 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
【判断基準】 (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
【自己評価】	実践例（取組や記録等）
□a)、 <input checked="" type="checkbox"/> b)、□c)	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室内に掲示し日常活動をはじめ、事業を実施する際は、利用者に向けて啓発していくことを意識して行った。 ・目黒区子ども条例の啓発として、遊戯室内への掲示や住区センター利用者にも手に取ってもらえるよう事務室前にパンフレットを置く場所を設置した。
1-1-2 (2) 理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
<ul style="list-style-type: none"> ・事業を企画していくうえで、理念、方針を基に子ども達にあった目標設定を行い、周知している。実施後は振り返り、次回に活かすようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施前の打ち合わせで伝えていく事の確認を行ったが、実施後にどこまで周知できたかの振り返りが不十分であった。 ・来館していない子ども想定し月のお知らせ等でも周知していく必要がある。

2、児童館の活動に関する事項

2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-1 (1) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
【判断基準】 (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。 (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。 (c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理	

念や基本方針等に盛り込んでいない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ・自館の目標に児童館の理念と目的を盛り込んでいる。 ・年齢や発達段階に合わせ、子どもの意見を尊重し、子どもたちの思いを表現できるように支援することを目標にしている。その目標を達成するために、子ども会議を実施するだけでなく、アンケートも取り、子どもたちがやってみたいと思う取り組みを実現できるように、努力している。 ・子どもの権利が尊重されるように、保護者をはじめ地域の方々との関係を大切に、児童館事業への理解と関心が深まるよう連携をとっている。
2-1-(2)	
児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。	
【判断基準】	
(a) 児童館の施設特性を發揮している。	
(b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。	
(c) 児童館の施設特性を發揮していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもがまた来たい。児童館は楽しい。」と思えることを第一に考え、毎月、各部屋の取り組みや目標を話し合い部屋運営を行っている。 ・子ども同士や異年齢の関係ができるように、遊びの輪に職員が入り、子ども同士の関わりが広がるようにしている。 ・利用者と信頼関係を築くことに重点を置いて、子どもが安心して、自由に遊べるように支援している。 ・独立した乳幼児室がない為、プレイルーム、遊戯室を優先的に使える時間帯を毎日設定し、年齢、目的に合わせて利用者が選択できるように工夫した部屋運営を行っている。 ・複合施設の住区センターと連携をとり、住区住民会議と共に地域行事を実施し、子どもを含め積極的に参加している。また、複合施設の老人いこいの家、住区の窓口と連携して緊急時の対応など連携事業を展開している。
2-1-(3)	
子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
【判断基準】	
(a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
(b) -	
(c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会議や行事などを通して「目黒区子ども条例」について知ってもらう機会を作っている。また、子どもが自分の意見を言いやすい雰囲気や機会を用意し、子どもたちの「やりたい。」を実現できるようにしている。 ・日常では、子ども一人ひとりのことを理解することを意識し、子どもにあわせた対応や声掛けなどを行っている。
--	--

2-1-(4) 児童館の理念・目的及び施設特性について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、次月の目標や取り組みについての打ち合わせをすることで、全職員が共通認識を持ち、児童館運営に携わることができている。 ・児童館の理念・目的などを意識した事業を職員で話し合い実施し、実施後は次回に活かせるように、必ず振り返りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の理念・目的についての周知が、まだ不十分である。 ・児童館は、地域における子どものための拠点(館)であるにも関わらず、児童館を知らない子もいた。 ・引き続き、児童館についてのPRや理念・目的を分かりやすく伝えていく必要がある。

2-2 遊びによる子どもの育成

2-2-(1) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。	
【判断基準】 (a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。 (b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。 (c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の打ち合わせで、子どもの発達や状況、気になることなどを話し合い職員間で共有している。また、個別課題のある児童などは、必要に応じて記録に残し、継続した関わりがもてるようにしている。 ・一人ひとりの個性を大切にし、子どもを理解し、職員が共通認識を持ち、子どもたちの育成を行っている。
2-2-(2) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。	
【判断基準】	

- (a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。
- (b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。
- (c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの気持ちを大事にし、主体的に遊べるように支援し、一緒に遊び、関わっている。 ・職員で話し合いをし、子ども達のやりたい気持ちが実現できるよう遊びの工夫や選択して遊べるようにしている。

2-2-(3)

子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。

【判断基準】

- (a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。
- (b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。
- (c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。

【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して、子どもたちが、子ども同士で遊びを教え合い、優しく伝える姿がある。 ・初めて来館する子や遊び方がわからない子なども、いろいろな活動に参加できるように、職員が間に入りながら、子ども同士が自然と異年齢で関り楽しんで遊ぶ姿がある。

2-2-(4)

遊びによる子どもの育成について

良いと思う点	改善が必要だと思う点
<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して1人ひとり、思いやりを持てるような仲間関係が作れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分中心の子どももまだまだいる。今後も遊びを通し、子ども同士関わりあいながら、気持ちを伝え合い、他児の気持ちに気づく機会を作っていく。

2-3 児童館の安全管理

2-3-(1)

緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。

【判断基準】	
(a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。 (b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。 (c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応について各種マニュアルを整備している。 ・利用者も含めて、毎月、避難訓練や危機管理研修を実施し、実施後に振り返り、改善点などの確認をしている。 ・複合施設と一緒に総合的な訓練（消防訓練・不審者対応訓練）も実施している。
2-3-(2)	
利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	
【判断基準】	
(a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。 (b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。 (c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の各部屋の施設点検を実施し、日常的に施設の安全点検を意識し、不具合がある時は朝会や昼会で伝え合い、原因を考え改善（修繕）し、事故やケガの未然防止に努めている。 ・子どもが安心、安全に遊べるよう環境を整え、遊び方の確認をして子どもたちに伝えている。 ・日ごろから衛生管理を含めて施設の消毒や換気を心掛けて実施している。